（様式第１号）

省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金交付申請書

　令和　　年　　月　　日

山梨県知事　殿

　　　　　　　　　　　　（申請者）

　　　 　　　　　　　 　郵便番号

　　　　　　住所

名称

代表者の役職

代表者の氏名

　省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金交付要綱第６条第１項の規定により、次のとおり事業計画について関係書類を添えて提出します。

　なお、事業計画書及び関係書類に虚偽や不正がないことを申し添えます。

１　補助対象経費及び補助金申請額等

（１）補助対象経費　金　　　　　　　　　円

（２）補助金申請額　金　　　　　　　　　円

（３）事業実施期間

　交付決定通知日又は事前着手届記載の着手予定日から令和　年　月　日まで

２　実施する内容

　　（別紙）事業計画書のとおり

【申請担当者連絡先】

所属・役職：　　　　　　　　　　　　　氏名：

固定電話：　　　　　　　　　　　　　携帯電話：

ＦＡＸ：

E-mail：

※申請者と同じ法人に属する担当者を記入。

※申請内容の確認、設備導入後の国・県の検査対応、耐用年数期間の設備管理をする者を記入。

（添付様式第１－２①号）



上記のとおり提出書類の不足がないこと、記載例を確認し記入漏れ等がないことを十分に確認しました。また、審査時に当該書類の不足等があった場合は、そのことを理由として不交付決定となる場合があること、全ての書類が整った申請から優先的に審査を行うことについて理解しました。

　令和　　年　　月　　日　　　　　署名（自筆）

（添付様式第１－２②号）



上記のとおり提出書類の不足がないこと、記載例を確認し記入漏れ等がないことを十分に確認しました。また、審査時に当該書類の不足等があった場合は、そのことを理由として不交付決定となる場合があること、全ての書類が整った申請から優先的に審査を行うことについて理解しました。

　令和　　年　　月　　日　　　　　署名（自筆）

（添付様式第１－２③号）



上記のとおり提出書類の不足がないこと、記載例を確認し記入漏れ等がないことを十分に確認しました。また、審査時に当該書類の不足等があった場合は、そのことを理由として不交付決定となる場合があること、全ての書類が整った申請から優先的に審査を行うことについて理解しました。

　令和　　年　　月　　日　　　　　署名（自筆）

（添付様式第１－２④号）



上記のとおり提出書類の不足がないこと、記載例を確認し記入漏れ等がないことを十分に確認しました。また、審査時に当該書類の不足等があった場合は、そのことを理由として不交付決定となる場合があること、全ての書類が整った申請から優先的に審査を行うことについて理解しました。

　令和　　年　　月　　日　　　　　署名（自筆）

（添付様式第１－１号）

補助事業計画書

１　事業者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者名 ※１ |  |
| 法人番号 ※１、※２ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 住所 ※１ |  |
| 設立年月日 |  |
| 申請区分 ※１ | 農漁業者 |
| 第１次・第２次・第３次申請の交付決定日及び番号※３ | 令和　　年　　月　　日付け省エネ農第　　　　　号　　　　　　　　　　　　　果六第　　　　　　　号 |

※１　事業者名、法人番号（法人の場合）、住所、申請区分、補助金額等は公表項目となります。

　　　個人事業主の場合は、店舗名や屋号ではなく、個人名を記入してください。

※２　法人の申請者は、下記サイトで検索可能な１３桁の数字を記入してください。

■ 国税庁法人番号公表サイト　（ <https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/> ）

※３　最終的な電気代等負担者の名称を記入してください。申請者自らが負担していない場合は補助対象外です。

※４　第１次・第２次・第３次募集における本補助金の交付決定を受けている事業者は、交付決定日及び番号を記入してください。

２　補助申請額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助事業 | 補助対象経費の合計額 | 交付申請額 |
| 省エネ設備導入 |  |  |
| 再エネ設備導入 |  |  |
| 合計 |  |  |

３　資金調達内訳

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業費の総額 | 補助金 | 自己資金 | 借入金 | その他 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 借入金の調達先（金融機関名）： |

４　補助対象事業所における更新・新設設備の内訳

|  |  |
| --- | --- |
| 補助対象事業所の名称 |  |
| 補助対象事業所の所在地 |  |
| 省エネ設備導入 | 番号 | 設備の種別 | 機種名・型式等 | 台数 | 補助対象経費（円、税抜） |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |
| 補助金の額（補助対象経費の2/3以内、千円未満切捨、上限3,000,000円、下限250,000円）※ |  |
| 再エネ設備導入 | 番号 | 設備の種別 | 機種名・型式等 | 台数 | 補助対象経費（円、税抜） |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |
| 補助金の額（補助対象経費の2/3以内、千円未満切捨、上限6,000,000円、下限1,000,000円）※ |  |

※１　補助対象事業所の所在地は、提出する登記事項証明書の住所と一致している必要があります。

※２　 補助金の額は、区分ごとに合計した補助対象経費に、補助率（2/3）を乗じた額の千円未満を切り捨てて算出します。

※３　設備の機種名や型式等の記入情報が掲載されているカタログ等を提出する際は、カタログ等で参照した箇所をマーカー等で明示してご提出ください。

５　事業内容

|  |
| --- |
| （１）取組の概要（テーマ） |
| （２）事業所の概要（３００文字程度）　 |
| （３）現在の原油価格、物価高騰等による経営への影響について（３００文字程度）  |
| （４）本事業における具体的な取組内容（３００文字程度） |
| （５）本事業における導入機器と自身の生産物との関連 |

（添付様式第１―３号）

太陽光発電設備（蓄電池）導入実施計画書

　　　　年　　月　　日

山梨県知事 殿

（申請者）

　　　　　住所

名称

代表者の役職・氏名

１　導入設備発容量について

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 太陽光発電設備 | ｋｗ |  | 蓄電池容量 | ｋｗｈ |

２　導入設備の年間電力消費量（計画）　について　　　　　　（単位：kWh）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 導入前電力消費量（A） | 発電量（B） | 導入後電力消費量（A）-(B) |
| １月 |  |  |  |
| ２月 |  |  |  |
| ３月 |  |  |  |
| ４月 |  |  |  |
| ５月 |  |  |  |
| ６月 |  |  |  |
| ７月 |  |  |  |
| ８月 |  |  |  |
| ９月 |  |  |  |
| １０月 |  |  |  |
| １１月 |  |  |  |
| １２月 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

※ 導入前電力消費量（Ａ）は、補助対象事業所以外（自宅等）の使用電力は含めず、令和５年１月から令和５年１２月までの実績により記入すること。また、令和５年１０月から１２月までの３ヶ月分の請求書等（写し）を添付すること。

※ 添付する設備の根拠資料（カタログ等）については、数値の記載箇所や性能要件を満　たす旨の記述部分にマーカー等をすること。

３　蓄電池導入の考え方（エネルギーコスト削減にどう活用するのか）

|  |
| --- |
|  |

（添付様式第２号）

誓 　　約 　　書

私は、補助金申請要件をすべて満たしており、下記の事項について誓約します。

なお、県が必要とする場合は、山梨県警察本部に照会することについて承諾します。

また、照会で確認された情報は、今後、私が県と行う他の契約等における身分確認に利用することに同意します。

記

１　山梨県の県税の未納がないこと。

２　山梨県内に所在する事業所において、一年以上継続して事業を営んでいること。

３　宗教活動や政治活動を主たる目的としていないこと。

４　自己又は自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。

（１） 暴力団 （暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

（２） 暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）

（３） 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者

（４） 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持・運営に協力し、又は関与している者

（５） 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

（６） 下請契約又は資材、原材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方が上記（１）から（５）までのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結している者

５　４の（２）から（６）に掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

６　風俗営業等の規制及び業務の適性化等に関する法律で規制される性風俗関連特殊営業でないこと。

７　営業に関して必要な許認可等を取得していること。

８　過去に国、都道府県、市町村等からの補助、助成、給付等に関し、不正等の事故を起こしていないこと。

９　過去２年以内に銀行取引停止処分を受けていないこと。

10　過去６か月以内に不渡手形又は不渡小切手を出していないこと。

11　次の申立てがなされていないこと。

ア　破産法（平成 16 年法律第 75 号）第 18 条又は第 19 条に基づく破産手続き開始の申立て

イ　会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）第 17 条に基づく更生手続開始の申立て

ウ　民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）第 21 条に基づく再生手続開始の申立て

12　債務不履行により、所有する資産に対し、仮差押命令、差押命令、保全差押又は競売開始決定がなされていないこと。

13　申請書類に記載された内容に虚偽が判明した場合や、補助条件を満たさなくなった場合は、補助金の返還に応じるとともに、加算金の支払いに応じます。

14　本事業において取得した財産の処分等については、補助金交付要綱等に従うことを承諾します。

15　同一の対象設備、経費等で、国県及び市町村が実施する設備導入等に係る他の補助制度と併用して交付を受けません。また、併用して交付を受けた場合は、県へ補助金の返還をします。

16　補助金受給額を不当に釣り上げ、関係者へ報酬を配賦するといった不正な行為に加担していないこと及び今後も加担しないこと。

　　令和　　年　　月　　日　　 山梨県知事 殿

住　　　所

（ふりがな）

法　人 名

（ふりがな）

代 表 者 氏 名　　　　　　 　　　　　 　　㊞

代 表 者

性　　別 （　男　・　女　） 生年月日 （昭和・平成） 　　年　 　月　　日

（添付様式第３号）

電気使用量等確認書

　令和　　年　　　月　　　日

山梨県知事 殿

（申請者）

住所

名称

代表者の役職・氏名

山梨県省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金事業を申請する下記設備について、既存の設備と比較して、電気使用量等が減少することを次のとおり確認しました。

１　比較項目情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 比較項目 |  | 単位 |  |

※「消費電力（ｗ）」、「消費電力量（ｋｗ/ｈ）」、「ガス消費量（ｋｗ/ｈ）」など、電気使用料等の減少を確認可能な項目と単位を記入すること。

※エネルギーコスト単位が異なる場合は、消費電力（ｗ）に統一するなど、単純比較できるようにしてください。また単位変換の根拠を添付してください。

※比較項目の記入に当たっては、次に留意すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 設備区分別 | 比較項目の記入内容 |
| 「照明設備」の場合 | 比較項目①に「１台の消費電力」、比較項目②に「消費電力の合計（１台の消費電力×台数）」を記入 |
| 「高効率空調」の場合 | 比較項目①に「冷房」、比較項目②に「暖房」の消費電力等を記入 |
| 上記以外の場合 | 原則として比較項目①のみ記入 |

２　既存設備情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 機器・型式等 | 台数 | 比較項目① | 比較項目② | 備　考 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |  |

３　更新設備情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 機器・型式~~番~~ | 台数 | 比較項目① | 比較項目② | 備　考 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |  |

※ 設備区分の種別（「照明設備」、「高効率空調」など）ごとに本様式を１部作成すること。また「No.」については、既存・更新機器の対応状況がわかるよう、「３　更新設備情報」にも同じ番号を記入すること。

※ カタログや仕様書等の根拠資料を参照して記入すること。また、使用した根拠資料の写しを別添すること（マーカー等を施して参照箇所がわかるようにすること）。

（添付様式第４号）

設備設置等承諾書

令和　　年　　　月　　　日

（承認者）

住所

名称

代表者の役職・氏名

私は、自らが所有する土地または建物に、山梨県省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金の申請者が設置する次の補助対象設備について、同補助金の申請者が善良な管理義務を果たすことを条件に、法定耐用年数の間、設置および使用することを承諾します。

１　補助対象設備の設置及び使用を承諾する土地・建物

・土地の所在地：

・建物の所在地：

・設備の種類：　省エネ設備　・ 再エネ設備　（※該当するものを○で囲うこと）

※承諾する項目のみに記入すること（例えば、土地のみについての承諾の場合は、 建物

の欄は空欄にすること）

※賃貸借契約書や登記簿謄本などで確認できる住所を記入すること

２　法定耐用年数　　　　　　　　　年間　※導入設備のうち、最長の年数を記入

３　補助金の申請者

・申請者の名称：

・申請者の住所：

承諾者の連絡先　※本補助金審査時や設備補綴耐用年数の間に連絡する場合があります。

部署名：

職・氏名：

電話番号：

E-mailアドレス：

（様式第５号）

　　　年　　月　　日

　山梨県知事　殿

　　　　　　　　　　（申請者）

　　　　　　住所

名称

代表者の役職・氏名

省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金事前着手届

省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金事業について、次のとおり事業計画の確認前に着手しますので、省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金交付要綱第１０条第２項の規定に基づき届け出ます。

なお、本件につきまして、交付要綱第７条の交付決定がされず、補助金が交付されないこととなっても異議を申し立てないことを誓約します。

１　事前着手する事業内容

２　事前着手の理由

３　着手及び完了予定年月日

　　着手予定日　　　　　　　　年　　月　　日

　　完了予定日　　　　　　　　年　　月　　日

※１　着手予定日は、契約予定日または発注予定日を記入してください。この予定日よりも前に着手（契約・発注等）することがないように留意してください。

※２　完了予定日は、工事等が終了し、支払い等全ての事務が完了する予定日を記入してください。工事完了予定日ではありませんので注意してください。

※３　完了予定日より後に支払っていることが判明した場合、補助金を支払うことができませんので、余裕を持って記入してください。